

公共交通網の再編の考え方

今回の再編は、守谷市地域公共交通網形成計画（平成30年7月策定）（以下「形成計画」という）に基づき実施するものです。

1 将来像（形成計画より抜粋）

- ・憩いの空間（水と緑）、公共施設、商業施設、医療機関に、誰もが快適に利用できる公共交通網を構築する。

2 今回の目標（形成計画より抜粋）

- ・路線バスのバスネットワークにより、各地区の拠点と守谷駅周辺等の移動の目的地を効率的につなぎ、路線バスでカバーできない地区（※バス停から300m外）の新たな移動手段「小さな交通」（デマンドタクシー、自家用有償運送等）の活用、路線バス及び「小さな交通」でカバーできない通勤通学利用の多い箇所及び新たな住宅立地箇所（松並青葉地区）において、コミュニティバスによる補完を行い、全市域として移動手段の確保を目標とする。
- ・守谷駅周辺の施設を循環するバス交通等について、高頻度で利便性の高いものを検討する。

3 目標達成に向けての再編

- ・地区内の生活を支えるための新たな交通手段の導入
 - ⇒予約型：デマンド乗合交通の導入（3台、8時～17時運行、基本的に1時間単位の運行）
（路線バスネットワークが、地区の移動を支える目的として十分に機能していない地区（形成計画により抜粋））
 - ⇒自家用有償運送については、免許の制限、国の認可等のハードルが高いため、見送りし、今後の検討材料とする。
 - ⇒互助による運送については、免許の制限、国の認可を要しないため、ガイドラインを作成し、6地区において、実施できるかどうか行政が検討中。
- ・路線バスの路線を踏まえた上、利用者の少ないモコバスの見直し
- ・新たな住宅地の立地など、需要の変化を考慮したネットワーク
 - ⇒路線バスについて、路線の変更等は現在のところ予定なし。
モコバスについては、ゼロベースの見直し、路線バス及び予約型：デマンド乗合交通でカバーできない既存のモコバスバス停で通学・通勤者の多い箇所及び新たな住宅地を対象に見直しを実施する。（モコバス2路線）
- ・通勤時間帯の本数を増加など運行方法の見直し
 - ⇒現在のところ困難であり、今後の検討材料とする。
- ・守谷駅周辺の施設を循環するバス交通
 - ⇒次年度の再編における実証実験の結果を考慮し、今後の検討材料とする。